世界の研究最前線 体感

第5回プロセス化学国際シンポジウム

7月1～3日 浜松市で開催

大会のロゴ

日本プロセス化学会（JSPC、秋山隆彦会長・学習院大学教授）は、今年7月1日から3日まで、プロセス化学にかかわる幅広い分野と業界を対象にした「第5回プロセス化学国際シンポジウム（ISPC2026 International Symposium on Process Chemistry）」をアクトシティ浜松（浜松市）で開催する。JSPCは2001年の設立時から、毎年夏と冬に2回行っている国内シンポジウムと約5年に1度、国際シンポジウムを実施してきた。製薬業界のみならず、化学産業全般における「ものづくり」の競争力を高めるために設立されたのが日本プロセス学会。その背景には、学術界の「探究」と産業界の「生産」の間にある深い溝を埋めたいという強い志がある。ものづくりの現場で「プロセス化学」の重要性と注目度は一段と高まってきており今回、浜松で開催が予定されている第5回ISPCは「世界トップクラスのプロセス化学最前線を体感し、今後の研究とキャリアを切り開く場」として、大きな注目を集めそうだ。

開催地のアクトシティ浜松

日本プロセス化学会は、これまで08年、11年、15年、19年と開催を重ねてきた国際シンポジウムの経験と実績を踏まえ、今回、7月のアクトシティ浜松における第5回ISPCにおいて「我が国のプロセス化学産業の国際競争力の強化」と「プロセス化学の裾野を広げ、次代を担う人材育成」を大きなテーマに掲げる。国内外から約1000人の参加を目指した大規模な国際会議となる見込み。前回の開催から7年ぶりとなる第5回ISPCでは米国、英国、オランダ、中国、韓国、インド、そして日本の総勢13人の著名な講演陣を招へいし、従来以上に国際色豊かな学会となる。さらに、招待講演を通じプロセス化学の最新研究や国際動向、さらにプロセス化学の応用領域の可能性を幅広く知り、体験できるまたとない機会となる。

参加者約1000人 産学から多彩な講師陣

第5回ISPCの講師陣は世界的な製薬企業、CDMO（医薬品製造受託）からのトップクラス研究者と各国大学教授で、それぞれが取り組んでいる最先端の研究成果が披露される。製薬業界に限らず化学や食品などでも大きく注目されている連続フロー合成、コンピューター制御合成、機械学習やデータ化学、酵素触媒、電気化学、光化学といった最先端の有機合成や最新合成技術が紹介されるため、プロセス化学の現在とその未来を大きく俯瞰できる。大学に限らず、研究開発に従事するさまざまな業界・各社の研究者にとっても会場への参加は非常に有意義な場となるだろう。

また、日本の全産業界にとって大きな課題となる次世代の人材育成は大学や企業の研究開発現場も同じだが、ISPC2026では次世代の人材育成を強く推進する新しい取り組みとなる「学生優秀発表賞」も新設された。以前から行われている大学や企業研究者対象の1SPC優秀発表賞に加え、学生・院生を対象に優れた研究や若い研究者が取り組む未来への挑戦を、この学生優秀発表賞を通じて強力に後押しをしながらプロセス化学を担う次代の研究人材育成につなげていく。

この試みでは、全国の学生や院生らが取り組んでいる研究の成果をポスター形式で第5回ISPCの開催会場で発表する。各大学間の学術交流だけでなく、企業側にとっても学生らが行っている優れた研究成果へ触れることができる。

第5回ISPCの本開催は7月2・3日の2日間だが、7月1日の夕刻にはウェルカムパーティも予定されている。第5回ISPC2026公式ウェブサイトは https://ispc2026/。

世界各国から総勢13人の講演陣を招へいした。連続フロー合成、酵素触媒といった最先端の有機合成や最新合成技術が紹介される

若手人材に成長の機会提供

日本プロセス化学会副会長 赤井 周司 大阪大名誉教授

日本プロセス化学会の秋山隆彦会長とともに同会の運営に尽力している赤井周司副会長（大阪大学名誉教授）は、今回の第5回ISPCの実行委員長を務めている。改めて日本プロセス化学会の特徴と活動、そして今回の国際シンポジウムの開催意義などを聞いた。

◇

企業の参加者も

●…日本プロセス化学会の特徴は。

「製薬業界をはじめとして、多様な化学産業、大学や公立研究機関などのアカデミア、そして装置や機器メーカーなど、モノづくりでもあるプロセス化学にかかわっている多種多様かつ幅広い分野の研究者や、企業の製造から研究開発部門の担当者まで多くの専門家が集まる場として日本の学術コミュニティのなかでも産学の最前線が直接に交差、交流できる独自の会として活動を推進している。毎年、夏と冬に行う国内シンポジウムでは多くの方々が集うが、特徴的なのは参加者の約9割が企業からの研究者やマネージャーであること。とりわけ研究所長や部門長クラスも多数参加する。このような学術集会は他に例がないのではないかと思う。このようにプロセス化学分野にたずさわる各方面の人的交流と研究交流の双方で確固たるポジションを持っている」

キャリア形成に

●…第5回ISPC開催で目指すところは。

「真の国際化を目指していくこと、そして次代に継ぐ人材育成という2つが大きなテーマ。今回の13件の招待講演では各国の教授や企業研究者からプロセス化学にかかわる世界最先端の研究成果が多く紹介される。とくに企業での研究成果は学術的にもトップクラスであり、日本のプロセス化学研究にかかわるすべての研究者にとってプロセス化学研究における国際潮流を知り、トップクラスの研究レベルに触れる良い機会となるだろう。また、化学産業全般で有機合成や合成技術の新たなトレンドも知ることができる。さらにISPCの場は招待講演のみならず、学生や若手研究者にとって圧倒的な成長機会の場となる。開催期間中のポスターセッションや情報交換会には国内外の第一線企業研究者が多く訪れ、その場で活発な議論が交わされる。研究内容にかかわる学術的な討論だけでなく、企業の実務に沿った視点や将来キャリアにつながるコメントも得られるだろう。若手研究者にとってはリアルな直接対話を通じ、ネット情報や研究室のなかだけでは決して得ることのできない新たな刺激や実体験ができるのも大きな特徴だ」

学生対象の賞も

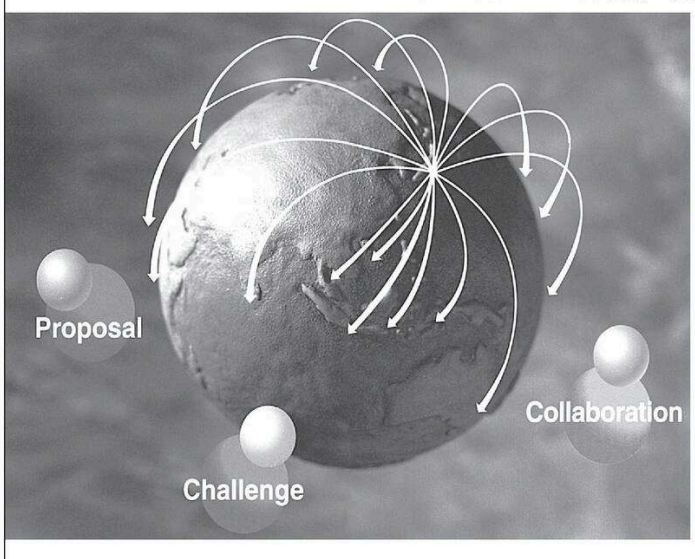
●…今回、学生優秀発表賞も新設されました。

「日本化学会、そして有機合成化学協会からの協力と支援も得て、有機合成にかかわる各大学や研究機関の教員・主任研究者の方々へ学生・院生らのポスター発表を促す告知協力をしていただいた。また、両会の学術誌名を冠として学生・院生らの優れた研究成果を表彰する。表彰を通じ若い研究者らの研究活動に関わる挑戦を後押しし、プロセス化学のみならず、日本の研究開発分野における次世代の人材育成を推進していく。プロセス化学はこれまで医薬製造に限定された領域で、その他の領域とはあまり関係がないのではないかという印象も聞くが、実際にはそうではない。化学反応や触媒開発、すべての合成プロセス、機能性分子創製、高分子化学、ケミカルバイオロジーなど『ものづくり』を志向するすべての研究分野はプロセス化学の基盤でもあり、プロセス化学につながっている。その意味で、これまでプロセス化学に興味を持っていない研究者たちの参加を促したい。薬学に限らず、理学、工学、農学など学部・研究科の枠を越え、多様なバックグラウンドを持つ研究者と多彩な企業の方々が交流し、新しい視点や学際連携が生まれるのがISPCの魅力。今回の国際シンポジウムへぜひ、足を運んでいただきたい」

（聞き手＝沼澤憲一）

リアルな情報交換が刺激

宇津商事グループは常に提案(Proposal)挑戦(Challenge)共創(Collaboration)の
3つのテーマで、21世紀の世界を見つめます



私たちは1916年の創立以来、
化学工業薬品の専門商社として
無機から有機そして
機能化学品へと業容を
拡げてきました。
生活に密着したこれらの製品は
未来に限りなく夢を与えてくれます。
今まで以上に、グローバルな
視点から環境問題や
資源再利用などに積極的に
取り組んでいく事も
商社としての使命であると
考えています。

●基礎・機能化学品
●半導体関連
●医農薬・電子材料中間体
●高機能フィルター
●フィルム加工
●各種耐火物
●ヘルス&ビューティーOEM

UTSU 宇津商事株式会社 http://www.utsu.co.jp/

ISO 14001 JQA-EM4936　UKAS 091-C

本　社　TEL (03)3663-5581(代表)　大阪支店　TEL (06)6253-2011(代表)
東北営業所　TEL (022)267-1901　熊本営業所　TEL (096)211-3565
海外拠点　中国（上海）／シンガポール／台湾／アメリカ／マレーシア

機構と人事

◇日本触媒
（6月17日付）▽イーテック代表取締役社長（イーテック代表取締役副社長）児玉直樹

◇日本電達
（6月1日付）▽マリスク管理担当取締役上席執行役員兼技術統括兼生産本部長兼品質管理部長（人事部長）▽リスク管理部長（人事部長）▽教育部長▽リスク管理部長（人事部長）▽経営企画部上席主幹（兼）新免龍彦

◇JNC
（7月1日付）▽経営企画室上席企画員（兼）捷恩智へ上海企業管理有限公司副総経理）熊谷誠敏▽ESG Investment Vice President（ESG Investment Director）▽Venture Indonesia President Director▽Venture Partners Indonesia President Director▽Venture Partners Indonesia President Director▽Venture Partners